

小学5年生と2年生の息子
子育てに日々奮闘中!

vol.4

富永あけみ通信



2018年10月発行

市政報告

佐賀市議会議員
社会市民クラブ

9月3日～10月5日の33日に渡って開催された9月定例会。
31議案のうち30議案が可決。第81号議案である「平成29年度決算」
が富士小学校跡地の体育館改修問題で“不認定”となる異例の事態となり
ました。

これには私が所属する総務委員会でも長時間に渡って議論。議会と
執行部の信頼関係が大前提であるなか、本来報告すべき事項がされて
おらず、今後の再発防止のためのルール作りの必要性を訴えました。



● 9月補正予算総額・・・約50億2,100万円

● 補正後の予算総額・・・約998億9,300万円 (前年度同時期比:4.8%増)

9月補正予算で補う主な事業



豪雨災害復旧経費

24億292万円

7月豪雨に係る災害復旧
経費(※別途、専決処分に
よる支出が3億円)



ふるさと納税推進事業

1億3,892万円

- ・ふるさと納税ポータルサイトの拡充
(2サイト→5サイト)
- ・寄附者への返礼品の充実
(品目数の増加・寄附金額区分の細
分化)



富士小学校跡地整備事業

3億706万円
(総額7億4,968万円)

平成25年3月末で廃校となった富
士小学校について、富士町の地域資
源を活かし「人々が集い、つながり、
広がる、地域の拠点」として整備活
用。



富永さんち

はじめてのコトバ

なつかしの



佐賀の赤ちゃんが「ママ、パパ」に続いて覚
える言葉は「バルーン」と言われるくらい、
佐賀ではすっかりお馴染みのバルーンが
みられる季節になりましたね。
サガ・ライトファンタジーも開催中です!
～2019年1月14日まで。

児童・生徒の食物アレルギーについて



今回は子どもに一番多い「食物アレルギー」について取り上げました。

近年、アレルギー疾患は急増しており、国民の2人に1人が罹病しているとも言われています。この増加の背景には、大きく変わった日本人の生活環境、大気汚染などによる環境悪化があげられます。

更に最近では、抗菌商品の増加や清潔な環境での生育、抗生物質の過剰使用、ストレスといった現代社会ならではの背景があるという研究もされています。

★1 アナフィラキシーとは…

アレルギー症状を複数の臓器、全身性に発症し、極めて短時間の間に症状が進行します。最悪、命に関わることもあるため迅速な対応が必要となります。

★2 エピペンとは…

アナフィラキシー症状が現れた時に、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐためのアドレナリン自己注射薬です。原則としては自分で打つようになっています。

富永の考えと一問一答



1 市立小学校の学校給食における現状は？

2012年には東京都府中市の小学生女子児童が、給食のお替りのチヂミを食べた後アナフィラキシー★1症状をおこし死亡するといった事故もあり質問しました。「基本的には、アレルギー食材を除去するやり方（除去食）で対応。症状には個人差があり、学校給食での対応が困難な場合は、弁当を持参してもらう場合もある」との答弁がありました。

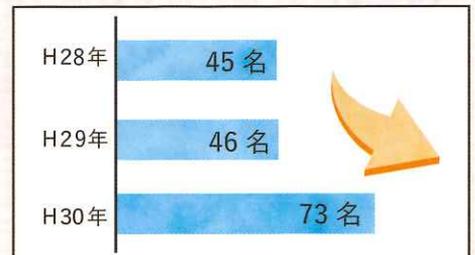
◆食物アレルギーのある児童数



2 教職員へのエピペン★2の使い方も含めた研修の具体的内容について

「マニュアルを配布し、アレルギー症状への対応手順やエピペンの使い方を指示。また県との共催による研修会も毎年開催し、専門医の講演や演習を行っている。なお、文科省監修の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に即し、教職員がエピペンを注射する場合は医師法違反とならない旨の見解が示されている」との答弁がありました。

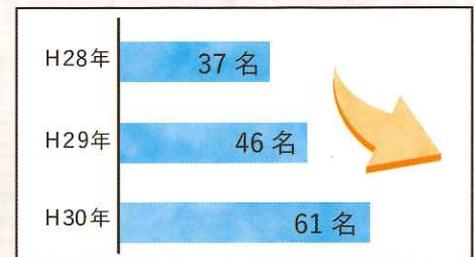
◆アナフィラキシーの既往を有する児童数



3 放課後児童クラブではどのような対応となっているか？

学校や保育所・幼稚園ではアレルギー疾患に対する取り組み体制が整ってきているなか、放課後児童クラブは置き去りにされているように感じます。昨年、厚労省作成の「放課後児童クラブ運営指針」で、ようやくアレルギー児童への対応が盛り込まれた背景を受け佐賀市の現状を質問しました。「現状ではエピペンを打てる状況にない。嘱託職員等、指導員の確保ができ次第、エピペンを打てる環境整備に努めていく」と答弁がありました。

◆エピペンを携行している児童数



※ 佐賀市立小学校に在籍の児童数

4 避難所での食事提供ではどうなっているか

「アレルギー対応食料を3品目扱っている」と答弁がありました。

ただ、先日の北海道地震の際、避難所でのアレルギー対応食料が不足していると報道されていたことを受け、佐賀市でもそのような事態が起きないように、備蓄についても管理徹底をお願いしました。

5 「食物アレルギー」に関しての正しい知識や、研修が必要

まずは「食物アレルギー」疾患に対する周りの理解、正しい知識が大切と考えます。そして、そこに携わる方には正しい判断ができる専門医による話や、エピペンは人命救助に関わる緊急避難処置であることの理解や正しい使い方等の繰り返しの研修が必要と考えます。また、県が今年7月に導入した「ヘルプマーク・ヘルプカード」への記入等も一つのやり方としてはできるのではないかと提案しました。

在留外国人への対応について

平成30年6月末現在の、日本における在留外国人は263万7,251人と前年末に比べ2.9%の増加（※総務省発表）となり過去最高となっています。

佐賀県内でも今年1月末現在5,665人と前年度を10.6%も上回る増加率となり、国籍別では、上位からベトナム、中国、韓国または朝鮮、フィリピン、インドネシアとアジア圏で全体の9割以上を占めています。まさに今、「日本人の視点に立った国際化・国際交流」から、一緒に居住するという「多文化共生社会★1」へと変わりつつあると言えます。それらを背景に、急増する在留外国人への仕組みづくりや環境整備の必要性について質問しました。

★1「多文化共生」とは…

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義される。

◆佐賀県内の外国人数の推移



富永の考えと一問一答



1 災害時や緊急時に外国人へのアナウンスは？

7月の西日本豪雨の際、外国人の方が情報が伝わらず不安を覚えた、どうしていいかわからず戸惑った、という声が多く届きました。

災害時における外国人への対応は社会問題にもなっているので、佐賀市の現状について質問したところ、「HPでの多言語翻訳機能や一部の携帯キャリアでの緊急情報の翻訳設定等がある」とのこと。しかし、現実的には対応できているとは言い難いものと感じます。

2 今、全国的に「やさしい日本語★2」の取り組みが広まっているが佐賀市でも導入しては？

「情報量や内容の正確さといった課題もあるが、外国人だけでなく高齢者や子どもに対する情報発信やコミュニケーションの方法として有効な手段の一つとして考えており、先進地における「やさしい日本語」の活用事例を市役所でも共有していきたい」と前向きな答弁をいただきました。

3 学校現場での外国人児童にたいする対応は？

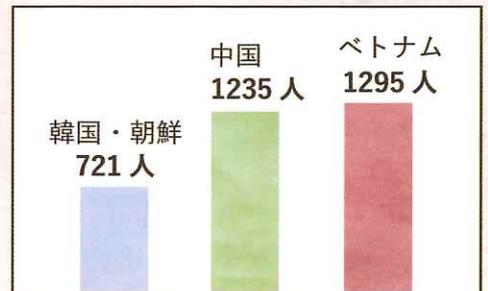
言語だけでなく、文化や宗教の違いもあるなかでどのように対応しているか質問しました。「配慮すべき事項を全職員で共通理解し個別に対応。児童・生徒には相互理解の指導を行っている。また、自国の誇りある文化を活かせる場を設定し、自信をもって学校生活を送れるよう配慮。日本の子どもにとっても広い視野で互いの文化を理解しあう絶好の機会になっている」と答弁がありました。

4 「多文化共生社会」への仕組み作り環境整備について佐賀市としての見解は？

今後、更に増加が見込まれる在留外国人。様々な分野で課題や問題が出てくると思いますが、大枠としてお互いを知り認め合う関係が必要ではという質問に対し、「外国との姉妹都市・友好都市に関わる事業や多文化共生

に関わる事業に取り組みことにより一人でも多くの市民に日本とは異なる文化に触れてもらい、外国人にも日本を理解してもらえるように努める。」と答弁がありました。

◆主な国別在留外国人(H30.1.1現在)



★2「やさしい日本語」とは…

普通の日本語よりも簡単で、外国人も分かりやすい日本語のこと。

～例～

【普通の日本語】

落下物に備えて頭部を保護してください。

【やさしい日本語】

危ないので帽子をかぶってください。





7/15 富士町災害ボランティア

アスパラハウスに流入した土砂の撤去作業にあたりました。復旧のために対応されている地元の方々行政の方々他、作業に当たられている皆さん、本当にお疲れさまです。



7/21 連雲港友好都市締結20周年記念歓迎会

20周年を記念して中国連雲港市の皆さんが佐賀を訪問されました。



7/28 兵庫の里まつり・子ども神輿

猛暑の中の開催となりましたが、元気な子どもたちの姿に周りまで元気をもらえました。

8/4~5 佐賀城下 栄の国まつり

市議会としても祭りのフィナーレを飾る総おどりに参加しました。



8/20 藤木子どもクラブ 「佐賀市議会見学ツアー」

未来の佐賀市を担う若者が誕生するといいいなあとと思います。



8/21~22 大分県竹田市視察

高齢化率の高い竹田市。移住定住に力を入れた「地域おこし協力隊」の取り組みについて視察しました。



9/9 第2回佐賀市消防団消防操法大会

日頃から訓練を重ね、住民が安心して暮らせる街のために頑張っておられる消防団の皆さまに敬意を表します。



9/12 「産前産後ケアの充実に関する要望書」提出・意見交換会

NPO 団体、県助産師会、大学関係者と共に、実情と切実な現場の声を佐賀市に届けました。



【活動報告】2018年7月

- 1日 佐賀市民体育大会開会式
兵庫校区子どもクラブドッチビー&ミニバレー大会
- 8日 「藤木公園花の会」夏の花植替え
- 11日 ヒアリング
連合佐賀東部地協議員懇談会
- 13~14日 2018自治体議員連合学習会
- 14日 連合佐賀議員懇談会夏季研修会
人権セミナー
- 15日 市民体育大会応援
富士町災害ボランティア
- 17日 藤木自治会座談会
- 19日 徳光きよたか選対会議
- 20日 議会広報公聴委員会
- 21日 藤木天満宮夏祭り神事
連雲港友好都市締結20周年記念歓迎会
- 23日 佐賀県地方自治問題研究所研究会
- 25日 藤木子どもクラブ役員会
- 27日 議会広報公聴委員会
- 28日 藤木子どもクラブ子ども神輿
兵庫の里まつり
- 29日 ドッチビー佐賀市大会(藤木チーム出場)

8月

- 1日 アレルギー児童ママの座談会
- 4~5日 佐賀城下栄の国まつり
- 5日 連合佐賀政治研修会
- 9日 佐賀県内市議会議員研修会
- 10日 全員協議会
- 11日 初盆参り
- 15日 8.15敗戦の日集会
- 20日 藤木子どもクラブ「佐賀市議会見学ツアー」
- 21~22日 大分県竹田市視察
- 25日 市政対策会議
食とみどり・水を守る佐賀県民会議
8月政策行動
- 27日 佐賀県地方自治問題研究所研究会
- 29日 議案勉強会
徳光きよたか選対発足会議
- 30日 ヒアリング

9月

- 2日 連合佐賀列島クリーンキャンペーン
- 3日 9月定例会開会
- 3~5日 常任委員会
- 5日 佐賀市政対策会議
- 6日 訪問型育児支援「ホームスタート」学習会
- 7日 常任委員会
- 8日 自治労地公サ・全国一般定期大会
- 9日 第2回佐賀市消防団消防操法大会
- 10日 城東中体育大会
- 11日 ヒアリング
- 12日 「産前産後ケアの充実に関する要望書」提出・意見交換会
- 13~26日 一般質問
- 15日 藤木自治会敬老会
- 21日 議会広報広聴委員会
ヒアリング
- 22日 日本商工会議所青年部第38回九州ブロック大会
- 23日 佐賀市兵庫町民体育大会
- 26日 富永あけみ一般質問日
第57回佐賀市職労女性部定期大会
- 27日 常任委員会
- 28~29日 佐賀市職労現業評議会定期大会
自治労佐賀県本部第111回定期大会

発行元: **富永あけみ**

連絡先: 〒849-0919 佐賀市兵庫北2 1 10

TEL/FAX 0952-77-9307

E-mail tominaga-akemi@po3.bunbun.ne.jp

ご意見・ご要望は上記連絡先までお願いいたします。